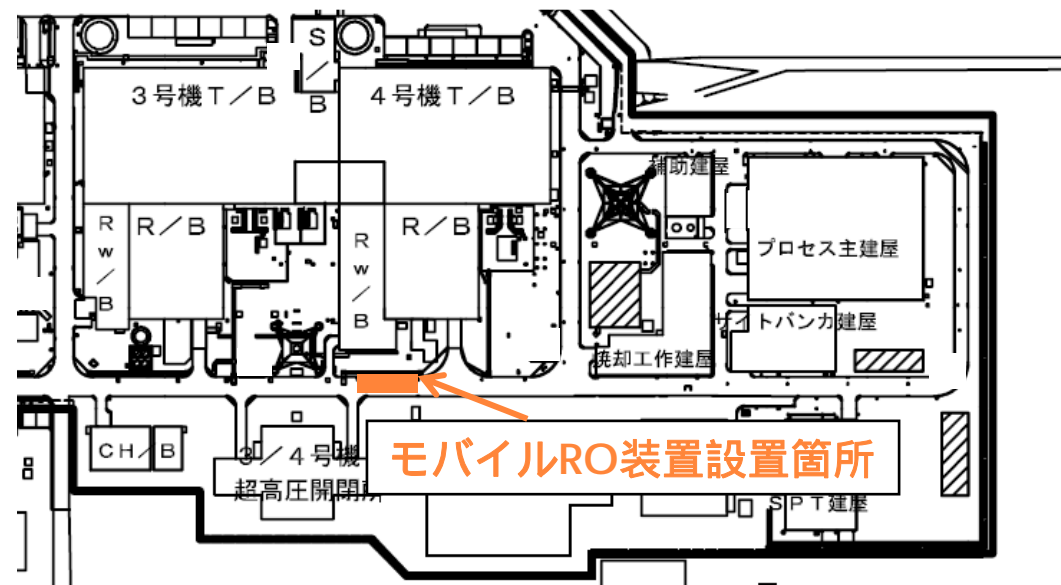


福島第一原子力発電所 4号機モバイル塩分除去装置における水の漏えいについて

< 参考資料 >
平成26年1月20日
東京電力株式会社

< 事象の概要 >

- 1月19日午後7時5分頃、4号機使用済燃料プール代替冷却系に接続されている塩分除去装置において「塩分除去装置ユニット漏えい検知」警報が発生。
- 同日午後7時35分頃、現場状況を確認したところ、塩分除去装置を積載している車輛上の堰内に水溜り（約1m×約1m×3mm、約0.3m×約0.3m×1mm範囲で漏えい量は約3.1リットル）を発見した。漏えい水は堰内に留まっており、堰外への流出はなかった。
- 塩分除去装置は停止中であり、系統とは隔離された状態で待機中であった。



確認した状況と今後の対応

- RO膜ユニット入口の高圧ポンプケーシング部より7秒に1滴程度の滴下を確認。
- サンプリングの結果、漏えい水は、使用済燃料プール代替冷却系浄化時に装置内に通水した系統水であることがわかった。
- 現在は拡大防止措置として、漏えい箇所にサンプリングボトルを設置している。
 - なお、装置内の系統水が全て漏えいしたとしても、堰内に収まる設計となっており、堰外に漏えいする恐れはない。
 - 1号～4号機使用済み燃料プール水質（塩化物イオン濃度）は、現時点では、管理値に比べて十分低い。）
- 漏えい箇所の推定
 - 1、2箇所目の水たまりについては、3箇所目の高圧ポンプからの滴下が拡大したものであると考えられるため、現在、現場状況を確認中。
- 今後の対応
 - 装置全体の水抜きを実施する。
 - 高圧ポンプの分解点検等により、原因調査を実施し、必要に応じて対策を講じることとする。